

秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科博士課程
アセスメント・ポリシー (学修成果の評価方針)

本研究科は、以下の指針をもとに学生が修得した知識、技能ならびに思考力、表現力、社会実践力、領域複合能力を多面的かつ総合的に評価します。

1 評価の内容

研究基盤科目（複合芸術研究法）では、研究遂行のための基礎的手法についての理解力を評価します。研究展開科目（複合芸術表現研究Ⅰ・Ⅱ、複合芸術理論研究Ⅰ・Ⅱ）では、学生個別の研究遂行能力を思考力、表現力、社会実践力、領域複合能力等の点から評価します。研究指導科目（複合芸術特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）では、これらを総合し、研究内容の深化と展開および研究の学術的意義について評価します。

2 評価の方法

研究遂行のための基礎的手法についての理解力に関しては、授業内での課題実践、レポートおよび口頭発表等により評価します。研究遂行能力については、表現と理論それぞれの領域的立場から、授業内で行う調査（文献・フィールド）、執筆（論文・論考）、制作（作品・活動）等について評価します。研究内容の深化と展開および研究の学術的意義に関しては、研究概要書、口頭発表、最終研究成果による評価と併せて「博士論文」又は「博士論文および制作・活動の成果物」の提出資格の条件となる「査読付き論文」や「審査を経て展覧会等に採用された作品等」も含めた学修成果を評価します。

なお、オムニバス授業や共同授業の形式を採る授業（研究基盤科目、研究展開科目）における成績評価は、授業担当教員の判定で行います。個別指導授業（研究指導科目）においては、指導担当教員により成績評価が行われます。

3 評価の基準

科目の成績は、可能な限り達成度を数値化して評価し、次に示す「秀、優、良、可、不可」の評語で評価します。

評価と評点、G P、評価の基準			
評価	評点 (100点)	G P (グレードポイント)	評価の基準
秀	90点以上	4.0	基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている
優	80～89点	3.0	基本的な目標を十分に達成している
良	70～79点	2.0	基本的な目標を達成している
可	60～69点	1.0	基本的な目標を最低限度達成している
不可	60点未満	0	基本的な目標を達成していない